

市議会だより

第41号

平成26年(2014)5月15日発行

発行：飯山市議会

編集：市議会だより
編集委員会

〒389-2292
長野県飯山市大字飯山1110-1
電話：0269-62-3111
FAX：0269-62-0005

インターネットホームページアドレス
<http://www.city.iiyama.nagano.jp/gikai/>
E-mail:gikai@city.iiyama.nagano.jp

3月定例会概要

平成26年3月定例会は、2月25日から3月19日までの23日間の会期で行われました。

今定例会では、平成26年度一般会計予算(総額168億7000万円)、特別会計・水道事業会計予算(総額83億3509万1000円)、平成25年度一般会計補正予算(総額7億4263万7000円の減額)、特別会計・水道事業会計補正予算(9175万4000円の減額)の各予算案24件、条例改正案など10件、事件案11件、固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求める人事案1件、専決承認1件の合計47議案が市長から提出されました。

3月4日から6日にかけては一般質問に13名の議員が登壇し、7日、10日、12日には予算決算常任委員会、13日には総務文教・産業民生常任委員会で、それぞれ付託された議案について審査しました。

委員会審査

最終日19日には、固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて同意議決し、その他提出された議案についても、すべて原案のとおり可決されました。

請願1件については賛成少数で不採択とし、4件については継続審査となりました。

3月7日、10日、13日には、各常任委員会において議案審査が行われました。

予算決算常任委員会

予算決算常任委員会に付託された議案は、「平成26年度飯山市一般会計予算」1件、特別会計予算10件、水道事業会計予算1件、「平成25年度飯山市一般会計補正予算」1件、特別会計補正予算10件、追加で提案された「平成25年度飯山市一般会計補正予算」1件の計24議案でした。審査結果は、賛成

総務文教常任委員会

多数または全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

総務文教常任委員会に付託された議案は、「消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例」をはじめとする条例案5件、「指定管理者の指定について」の事件案2件の計7議案でした。

審査結果は、「消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例」は賛成多数で、その他の議案については、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

産業民生常任委員会

産業民生常任委員会に付託された議案は、「飯山市ふるさとセンター条例の一部を改正する条例」をはじめとする条例案5件、「指定管理者の指定について」をはじめとする

人事案

◇議案47号
固定資産評価審査委員会委員の選任に関する同意を求めることについて
丸山 洋一 氏

《同意議決》

一般質問

※内容は要約してあります。

市民の安心安全を



西條豊致議員

【質問】 国道403号新中央橋先本島平村間の早期改良促進を。
【答弁】 新幹線効果発揮の重要路線であり近隣市町村と期成同盟会を通じ要請している。28年度に都市計画道とし決定し進めていく。
【質問】 洪水時、逆流防止のため樽川菜の花大橋付近へ樋門を。
【答弁】 樽川堤防は千曲川本流と同等な強度で築堤しており、人家に影響ないよう整備されている。今後は河床の浚せつや樹木の伐採等実施し、堤防の強化を図る。樋門設置は今のところ考えていない。
【質問】 西大滝ダム管理機能に伴う新制御システムに道路河川課と併せて危機管理防災課の対応を。



樽川橋下浚せつ力所

【答弁】 現在の監視システムの更新時期に当たりシステム自体の強化が図られる。機能が増強し、市としても職員を派遣し、操作体制を把握する中で万全を期していく。
【質問】 雪おろし作業中の滑落防止のため、屋根の頂上部にワイヤーを設置し、命綱等で安全を図るための普及助成を。
【答弁】 今冬も3名の負傷者が出た。融雪や落雪屋根の工事助成に併せ、ヘルメット、命綱の着用等安全作業の啓蒙に努める。ワイヤーの助成は今後の研究課題としたい。
【質問】 新幹線駅前にブナ植栽を。
【答弁】 緑に囲まれた駅をめざし信州大学農学部、教育学部の指導で植栽の場所、方法を計画。樹種はブナ、ナラ、ヤマモミジ等とし今後も仮植苗の準備を進める。街路樹は今秋からの予定。
【質問】 今年に入り堆肥センターの悪臭の苦情があり、市としての指導または、公害防止協定の予定は。
【答弁】 市と県で苦情の都度、指導に入っており、今後も定期的に立ち入り検査していく。協定は改定協議を継続中である。

公共施設等の老朽化への対応について



生涯学習センター

【質問】 公共施設等の老朽化に伴い必要となる更新・修繕に要する費用等に、どのように対応するのか。
【答弁】 各施設の老朽化の状況を見ながら、計画的な維持管理を行う。不要となる施設の見直しの検討も必要と考える。
【質問】 長寿命化か建て替えかという検討は実施しているのか。
【答弁】 橋梁・市営住宅は長寿命化計画で、他の施設は3カ年の実施計画策定の段階で検討している。今後総合的に検討したい。



渋川芳三議員

【質問】 公共施設維持のため、今後何年間にどの位の経費がかかるのか、適正な公共施設の配置案といったことの検討を始めるべきではないか。

【答弁】 総務省では「公共施設等総合管理計画」の策定を地方公共団体に要請すると聞いている。市においても来年度から取り組みたい。

◆人口減少への対応について

【質問】 市においても人口減少に対する対応を、早急にかつ幅広く検討すべきと考えるがどうか。
【答弁】 危機意識を持ちながら、具体的な対応方策の検討を進めていかなければと認識している。

【質問】 保育園や小中学校のあり方はどのように考えているか。

【答弁】 児童数は5年後は現在の80%、10年後には60%と予測される。保護者・地域と結びついた活力ある保育園・学校作りを進める。

【質問】 今後はコンパクトシティという考え方につき検討を行うべきと考えるがどうか。

【答弁】 将来のことを考えた時には検討しなければいけない課題。

人口減少の問題点と 移住・定住対策について



山崎一郎議員

【質問】新幹線の開通する来年は国勢調査の年であるが、10年前の人口と比べてどうなると予想しているのか。その調査時に仮に1000人減少したら、地方交付税にどんな影響が予想されるのか。

【答弁】約3000人ほどの減少となり平成27年は2万1900人位と予想している。人口1人減少したら交付税が11万円位減収となる予想なので、仮に1000人の減少なら、1億1千万円の減収となる。

【質問】新幹線関連などで大型事業が続くが、市債（借金）と財政見通しはどうか。

【答弁】市債残高は27年度がピークで、その後減少し、24年度と同じ78億円以下になるのは32年度末の見通しだ。財政見通しについては一時的に厳しくなるが市債も減少し、行財政改革も進め、より効率的な市政運営に努める。

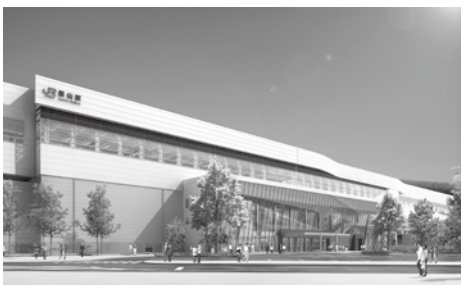
【質問】厳しい人口減の現実にあつて、新幹線駅関連の維持管理や運営費、新市民会館の固定経費等が新しく発生し、かなりの負担額に

なる見込みのようだが。

【答弁】新幹線の関連施設全てで、約5〜6千万円の維持管理費が予想される。新市民会館の関係では人件費や事業費別で約4〜5千万円位を想定している。

【質問】人口の減少対策として移住・定住策が経済波及効果も大きいと期待されているようだが。

【答弁】長野経済研究所の調査資料によると、団塊の世代の夫婦が県外から永住した場合、1億3千万円の効果が見込まれ、地元負担を考慮しても効果が大きいので新年度に要望の多い空き家の活用対策に新たに取り組む。



人口減少の現実で
新幹線飯山駅開業にどう対応できるか！！

128人中101人が受けない！ この健康意識をどう変えるか



高山恒夫議員

【質問】市の主要死因の一位であるがん検診率は13割、32割である。この数字を40割に改善しようとする具体的プランは何か。

【答弁】26年度から胃がん、肺がん、前立腺がんは初年度検診料を無料化し、がん検診の動機づけをしていきたい。広報や受診勧奨ハガキなどで積極的に進めたい。

【質問】特定健康診査の対象者と受診状況はどうか。

【答弁】検診対象者は国保加入者で40歳〜74歳までの4852名が対象となり、1327名の受診があつた。他人間ドックでも400名程度は検診を受けている。

【質問】特定保健指導とはどのようなプログラムで進められているか。

【答弁】特定健康診査の結果数値に基づき保健指導を実施する。実施方法は、腹囲、血糖値、脂質の状況等により仕分けし、該当者に生活習慣を変えていただくための支援を行う。具体的には動機づけ支援として面接、運動、食事の目標値を設定し6カ月経過後で再評価をしている。更に数値の高い人には

積極的支援として、面接指導から3カ月以上の継続的支援とし電話、メール、面接を繰り返し6カ月後の評価につなげていく。辛抱強く本人の自覚を促す取組みを進めている。

【質問】特定保健指導実施率14.6割（平成23年）は低過ぎないか。

【答弁】対象者128人中、動機づけ支援終了者24人、積極的支援終了者3人（平成24年）であつた。該当者に指導過程の説明時で拒否される方や途中で投げ出す方はカウントしていない。外部委託も含め実施率の向上を図りたい。



肺がん検診 らせんCT検査

地域包括ケアシステムの構築は 地域の意識改革が大きな力に



小林初子議員

変有用と考えるが見解を。

【答弁】市で作成する情報は本人同意が原則。それを踏まえ検討。

【質問】防災、減災は自主防災組織の活性化が大きな鍵を握ると考える。集落単位で市内同日開催の防災訓練を実施してはどうか。

【答弁】一斉実施は難しいが区長会協議会とも相談して訓練する機会を増やしていきたい。

【質問】市内の多くの公共施設にAEDが設置されている。市民への設置場所の情報発信が必要では。

【答弁】早急に市のホームページに載せていく。



骨や関節、筋肉の衰え（通称ロコモ）
を予防して高齢期を元気に（ロコモ健康教室）

周辺観光地にも

市の取り組みを



水野英夫議員

【質問】新幹線開業を控え、足立市長は9市町村の広域観光エリアを「信越自然郷」と命名し、その中で各市町村がそれぞれ特徴ある観光ポイントが必要と言っているが、飯山市では何を観光の目玉とするのか。

【答弁】市内各地に良い素材、さまざまなスポットがあるが、いまひとつ何かが足りない。新しい発想での取組みがこれから必要になる。すでに2月から北信州能力開発センターにおいて人材育成塾が5回ほど開かれる。なかなか難しい課題ではあるが期待したい。

【質問】市長は就任以来、街中観光、周辺観光、広域観光とに分け、取り組む姿勢を示しているが、今まで街中観光と広域観光については行政が主体的に取組んでいる。周辺観光については、側面支援のスタンスであるが周辺地域は大変弱体化しているので、市も今後を考える検討会を立ち上げるのはどうか。

【答弁】それぞれの観光協会なりでそれぞれのビジネスモデルを考え



子どもたちでにぎわう戸狩温泉スキー場

ていく必要があるのではないか。それについては協力していきたい。

【質問】飯山市観光協会と振興公社が一緒になり、信州いいやま観光局ができ4年がたった。修正点や今後の課題等について伺いたい。

【答弁】着地型旅行商品を扱える観光局と言うことで全国各地より注目を集め、年間20件ほどの視察や事例の掲載があり評価を得ている。各事業所はそれぞれ売り上げが増加または、回復している。当面の課題としては道の駅と湯滝の駐車場が狭い。また理事会の持ち方や組織構成も見直しの予定である。

子育て支援について



渡辺美智子議員

【質問】2015年度から子育て新制度がスタートする。飯山市の保育政策はどうなるのか。

【答弁】基本的には現状の市町村が実施する制度で進めていく。

【質問】保護者を対象にアンケートを実施されたが、結果の特徴は。

【答弁】回収率72.5割。子育て会議に報告し計画策定に活用する。

【質問】新制度に伴う影響について。保育時間の設定が8時間、長時間11時間。保育時間はどうか。

【答弁】4時間～8時間と8時間～11時間の認定になる。4時間の

場合8時間までの利用が認められる方向で検討されている。市町村の裁量がどの程度認められるかによって変わってくる。

【質問】保育料の算定は。

【答弁】所得税額算定から市民税額をもとに3区分に設定、保育時間によって変わる案も出ている。

【質問】現行の市独自の軽減は継続するのか。

【答弁】軽減の見直しをする予定。慎重に検討する。

【質問】保育料保護者負担無料化について年長児を無料にできないか。今の3人目以降の無料化と比べ予算はどうか。

【答弁】3人目以降の対象児139人、幼稚園入園補助16人で3170万円。年長児131名保護者負担から算出して、ほぼ同額になる。

【質問】3人目は限られた世帯になる。子育て全体を応援するため年長児の保育料を無料にすることは考えられないか。

【答弁】子どもが1人でも多く産めるよう今のまま続けていきたい。



新幹線に乗って

「雪と寺の町シンボル広場」の整備について



上松永林議員

◆福祉灯油代支援事業

【質問】目的と詳細を聞きたい。

【答弁】生活支援を目的に灯油価格高騰を受け弱者世帯に対し5千円を支給。現在750世帯が確定済み。

【質問】1世帯5千円とした理由。

【答弁】過去2回の事例等で判断。

【質問】灯油引換券あるいは商品券での支給を考えては。

【答弁】次回には検討したい。

◆雪と寺の町シンボル広場

【質問】広場のコンセプトは。回遊性まちづくりでの位置づけは。

【答弁】まちの玄関口ゾーン。

【質問】整備の概要は。

【答弁】園路の整備、植樹等。

【質問】「七福の鐘」の移転先は。

【答弁】広場内を候補に検討中。

【質問】「案内処」は。

【答弁】待機所等で再利用したい。

【質問】駅の屋根と壁は再利用を。

【答弁】組織を作り検討する。

【質問】観音像の寄贈の申し出がある。観音堂を建設してはどうか。

【答弁】スペースの問題もありますし、政教分離で難しい。



『雪と寺の町シンボル広場』の仁王像

岳北地域の

農業振興について



石田克男議員

け入れについて

【質問】JA北信州みゆきがもつと大きくならうと組織再編の検討を始めた。それよりも地域の事を考えてもらいたい。「定住自立圏構想」の中で行政と農協が一緒になって岳北地域の農業振興が図れないか。

【答弁】「定住自立圏構想」は人口流失を防ぐため生活基盤が保てるようなゾーンを作るための制度であるから、この中で産業振興を丸がかりで行政が関わる事は別次元である。まして農業振興については難しいと考えている。

◆飯山赤十字病院の救急患者の受

【質問】新幹線が開業しお客様に来ていただいた時、案内人のおもてなしが大切だ。詰所を考えているのか。

【答弁】検討している。

◆新幹線飯山駅前市有地の開発について

【質問】飯山商工会議所およびJA北信州みゆきから「新幹線駅前市有地に関する要望書」が提出された。検討結果は。

【答弁】民間企業から何件か問い合わせがあった。駅の正面でもあるので、信越自然郷の駅にふさわしい開発を検討している。



常盤田んぼと高社山

医療費窓口無料化



竹井政志議員

について

【質問】中学3年生までの医療費無料化は他市に先駆けて実施し、子育て世代から喜ばれ評価が高い。しかし全国では窓口無料化が進んでいるが。

【答弁】福祉医療について先進地の視察等県全体で研究している。

◆教育委員会制度改革について

【質問】安倍政権の教育委員会制度改革案が戦後憲法に則して教育の自主性を守るためにつくられた教育委員会制度の根幹を変えるものとして注目されている。教育改革案についての受け止めは。

【答弁】首長と教育長は十分意見の疎通をして、子どもたちの教育をどうするかという観点で連絡を密にしていけば市長が交代しても大きな変動がない。

◆消費税増税について

【質問】消費税増税を大きな柱とした政府案が自民、公明などの賛成多数で可決。飯山市においても条例改正し、市が管理する公共施設使用料、上下水道料金に増税分が転嫁されようとしているが。

【答弁】使用料等に転嫁しているが、



「原発再稼働反対」を訴える人たち

市の支出もそれ以上に大きな消費税を支払うので適正な転嫁と考えている。

◆原発再稼働について

【質問】飯山市に最も近い柏崎刈羽原発は平成26年の再稼働を狙っている。事故が起きれば福島をはるかに超える原発災害になると言われている。飯山市民の命と財産を守る立場からの見解は。

【答弁】将来的にはなくしていくべき。福島原発事故の原因究明されないまま再稼働すべきではない。

民生費の上昇について



水野晴光議員

【質問】26年度予算の国民健康保険、介護、後期高齢者医療費等が上昇している。これは要介護者、施設利用者、医療の利用者増と思われる。低減策の考えは。

【答弁】第2次健康増進計画を作成した。見やすい概要版を配布し市民から実行してもらう。介護施設等で住所地利例が使えれば、他地域から高齢者を受け入れられ、市としてもメリットが大きい。

【質問】26年度から男女の仲立ちを行った方に奨励金を出すとのこと。期待大。婚活事業で多くのカッ



剣道部の練習風景

プルが成立したが、結果が不明。

【答弁】婚活等でカップルが結婚し、報告があれば、記念品を出す。

【質問】教育費について。26年度予算が5・9割減、学校運営はどうなる。また、中学校の部活動について、特に柔・剣道の存続を望む。

【答弁】需用費、備品費、施設リニューアル工事費の削減、ティームティーチング、特別支援員、図書整備は昨年同額とした。部活動は、学校と前向きに検討したい。

【質問】綱切橋は上杉謙信に由来し、中央橋は千曲川源流から日本海までの367きのほぼ中間地点での名が有る。観光利用を望む。

【答弁】綱切橋も飯山城跡と共にポイントと考える。中央橋も観光名所の一つとして考えていきたい。

【質問】新規就農総合支援事業は、本年度から大幅にハードルを下げ、利便性が良くなった。また、多面的機能支払いについての取組みは。

【答弁】支援事業は対象を拡大し利便性を図る。農地、水保全事業が機能支払に名称変更。未加入地の加入促進を図りたい。

菜の花まつりについて



望月弘幸議員

し進めていく。

【質問】市は建設業界等と防災協定を結んでいるが、更に建設会社個々の災害対応能力の把握が必要と思われるが。

【答弁】災害時における協会との3者協力を結んでいる。保有機材等の調査もしている。更に調査を進めていく。

【質問】瑞穂地区は除雪計画の中で南部に位置付けられている。中部、北部と位置は同じであり、ロータリー除雪の充実が必要。

【答弁】更に適切な配置を進めていく。

◆菜の花まつりについて

【質問】案内看板、トイレ環境の整備が遅れている。また、シャトルバスの増車が必要である。

【答弁】シャトルバスの増発、案内看板、環境整備等改善していく。

◆新幹線について

【質問】2次交通の充実が不可欠であり、県や9市町村の連携が一層求められている。

【答弁】広域の各市町村の意向も確認しながら進めていく。

大きく変わる

農政への対応は



佐藤正夫議員

ように考えるか重要な時期なのでリーダーシップをもって取り組む。

【質問】新規就農支援改訂版は、お金の使途も、研修も以前より自由になり良いと思う。対象者を市民に限るのは当然である。

【答弁】要件を緩和して設けた任意の研修については例示したい。

◆みゆきパーク支援は待ったなし

【質問】関係者でプロジェクトチームを立ち上げたようだが、結論出るまでにカンフル剤が必要だ。

【答弁】生産者・行政・関係業界でチームを立ち上げ動いている。しっかりと対応して行きたい。

◆消防団員の定数減を

【質問】各分団では団員確保に苦慮している。機動力も備わって来ているので定数減を考えて欲しい。

【答弁】全国で同じ状況である。国において「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を制定。予算も強化する方向だ。市としては団員の確保を図りながら、定数については消防団等と十分に検討、協議を重ねていきたい。



始まった農作業（スジ撒き）

請願審査

◇請願第1号

治安維持法犠牲者（家族を含む）に対して国家賠償法制定を求める意見書採択に関する請願 《不採択》

請願者 治安維持法犠牲者国家賠償

要求同盟長野県北部支部

◇請願第2号

長野県に対し子ども・障がい者等の医療費窓口無料化を求める請願 《継続審査》

請願者 新日本婦人の会飯山支部

◇請願第3号

労働者保護ルール改悪反対を求める意見書の採択を求める請願 《継続審査》

請願者 日本労働組合総連合会会長

野県連合会 会長 中山 千弘

日本労働組合総連合会連合長野高水地域協議会北信地区連合会

◇請願第4号

「過労死防止基本法の制定を求める意見書」採択を求める請願 《継続審査》

請願者 いのちと健康をまもる長

野センター 理事長 古畑 俊彦

◇請願第5号

柏崎刈羽原発の再稼働させない事

編集後記

3月議会は新年度予算を審議する重要な議会でした。予算総額は来年の新幹線開業に向け過去最高の予算総額となりました。

住民福祉の機関としての役割をどのようなことがあっても最優先にするのが地方自治の本旨であり、議会はそのチェック機能としての役割を果たさなければならぬと思っています。二元代表制の制度のもと、行政と議会の独自の役割がいまほど求められているときはないと思います。私たち議員もそのことをしっかりと堅持し市民の暮らしと命を守る市政の前進をめざし、力を発揮しなければと思っています。いま進めている議会改革もそうした方向で行っていきたいと思います。市民のみなさんご意見をお寄せ下さい。

（小林 喜美治）
議会だより編集委員会

委員長 望月 弘幸
副委員長 高山 恒夫
委員 水野 晴光
西條 豊致
水野 英夫
小林 喜美治
久保田 幸治